

○いたくら 議会だより

〔今月の主な内容〕

- ◆ 9月定例会可決議案…………… 2 P
- ◆ 一般質問…………… 3 P
- ◆ 平成18年度決算認定…………… 8 P
- ◆ 各常任委員会研修報告…………… 10 P
- ◆ 町政へ一言…………… 12 P

2007 11 / 1 第103号



～いたくらコスモス満開～

10月6日から21日まで開催されたコスモスまつりが、多くの人でにぎわいを見せた。広さ約60ヘクタールに広がる赤やピンク、白などカラフルな彩りで、最盛期には8000万本が開花し、訪れた人に安らぎや感動をあたえた。

9月定例議会



平成19年第3回定例会は、9月11日から20日までの10日間の日程で開催されました。

今回の定例会では人事案件、条例の一部改正、各補正予算の13議案について可決しました。また、平成18年度板倉町一般会計歳入歳出決算と各特別会計歳入歳出決算を認定しました。

人事案件・条例の一部改正・補正予算・決算認定など19議案を可決

3億9,984万9千円(一般会計)追加補正
平成18年度決算を全会一致で認定
一般質問には5名が登壇

9/11(火)
議会初日

人事案件

◆板倉町公平委員会委員

野中長一さん(大字除川)が任期満了となるため、後任として佐山和雄さん(大字海老瀬)を選任しました。

◆板倉町固定資産評価審査委員会委員

委員3名のうち、三芝秀雄さん(大字内蔵新田)が任期満了に伴い再任されました。

◆板倉町教育委員会委員

大山登さん(大字西岡)が任期満了となるため、後任と

条例の一部改正

◆政治倫理の確立のための板倉町長の資産等の公開に関する条例の一部改正

郵政民営化法が10月1日から施行、また、証券取引法の一部が改正となることから、町長の資産等の公開のために作成する資産等報告書の内容を変更するための条例の改正です。

その他

◆町道路線の廃止及び認定

邑楽東部第1排水機場及び第2排水機場の完成に伴う機能喪失路線の廃止と内郷土地改良事業区域に関する従前路線35路線を廃止し、邑楽東部第2排水機場の旧樋管撤去工事に伴う道路整備及び内郷土地改良事業により造成された新設路線等に係る37路線を町道として認定しました。

全会一致で平成19年度補正予算を可決しました

	補正額	予算総額
一般会計	274,749	5,517,600
国民健康保険特別会計	24,540	1,709,793
介護保険特別会計	96,833	893,809
下水道事業特別会計	△407	273,884
水道事業会計	4,134	335,189

可決補正予算

(単位：千円)

一般質問

日 2月 日 議
月 9日 12日 例

① 青木秀夫 議員

「医師増員・財政支援増額」で

館林厚生病院（1市5町組合立）の夜間・救急医療の充実を！



安心・安全なまちづくりとは

問・「安心・安全」の内容は、身近な年金、医療、福祉教育、交通、防犯問題から環境、食糧、地震等の自然災害、外交、防衛問題まで、余りも広範囲で、「安心・安全」に対する認識、受け取り方は十人十様であると思うが、町長の考えている「安心・安全なまちづくり構想」とは何か伺いたい。

答・町長 内閣府の国民生活に関するアンケート調査で、国民の約2/3の人が「安心・安全な国づくり」を望んでいるという

社会保障政策を展望すると

問・選挙となると国から地方まで、全政党が医療、福祉の充実を訴えている。一方で国は医療、福祉の抑制を財政再建の中心に据えて、医療、福祉費の抑制、削減に躍起となっている。医療、福祉の充実と抑制という矛盾した関係を解きほぐせば、財政再建、社会保障費カットという方向に進んでいるようである。国の社会保障政策の現状、将来を

調査結果が出ている。医療、福祉を除いた「安心・安全な板倉町づくり」となると、一番大きな課題は、自然災害に対する安全と、犯罪等への安全対策等を基本的に考えている。

町長はどのように認識しているか伺いたい。

答・町長 医療、福祉の充実と抑制という関係を考えてみると、最近、矛盾している面が、特に目立ってきているような感じがしている。2004年の社会保障費86兆円が2025年には152兆円になるという試算も出ている中で、国民にも高負担、年金等の給付減と苦勞の多い昨今となっている。今指摘があったように、その原因は、財政問題にあると思っっている。

国民健康保険料の引き上げ時期は？

問・国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険等、負担増ラッシュである。医療、福祉は国の制度で

あるから、市町村はその制度に追随するだけということではなく、板倉町として、住民負担増の抑制に策を講ずるべきではないか。

答・町長 例えば、国保財政、何とか凌いできたが、ここに来て悪化している。町の一般財源を持ち出さないことやっていけない状態になっている。町民の生活を考えると、そう簡単には値上げできない。町からの持ち出しも検討しながら、何とか凌げることができれば凌いで、値上げは少しでも先送りしたいと考えている。

夜間、救急医療の充実に財政支援を

問・病院評価は、夜間、救急医療の対応が迅速で適切かどうか、決め手となっているようである。迅速、適切な医療行為には、医師確保、人件費増が伴うことになる。今、厚生病院の赤字経営体質が問われているが、財政負担を増額しても、医師増員、質の高い医療

サービスの提供という方針に、転換すべき時期にあるのではないだろうか。それが、風評被害の払拭策にもなるのではないか。

答・町長 以前は病院経営に赤字のないよう指導してきたが、今の状況は前と全く違っていることは十分理解している。指摘のとおり、厚生病院は、最近、入院、外来患者ともに減っていることは事実で心配な状態にある。医師の確保は、絶対的な必要事項であると認識している。医師確保のために財政支援できるように精一杯努力していきたい。



▲救急医療の充実で安心を

一般質問

議会 2日 目
9月12日(木)

② 秋山 豊子 議員

未来ある子供の安全・安心を守るべきでは
町長と女性との顔の見える対話を



動物愛護の観点から
火葬場の設置を

問・家庭で飼われている犬や猫が死亡した時、火葬を館林市の斎場にお願いと断られるという声が、町民から出ているが、理由と現状を聞きたい。

答・町長 基本的に家庭で飼われている犬や猫は、飼い主の責任で飼わなければならぬと思つていゝ。火葬については、館林市と協定を結んでいないため、犬や猫が死亡した時は、自分の家の敷地内で処理し、不可能な場合は、民間でというのが

現状である。

問・飼う人がマナーを守ることとは言うまでもないが、敷地内に埋めるといふことは、衛生面や環境の面から問題がある。また、民間では、中型犬で3万円〜4万円位かかることから、行政と町民とが一体となつて、動物愛護の観点から取り組む必要がある。これからのことを考えると、火葬の施設を作るべきでは。

答・町長 ペット等の火葬場があれば良いが、個人でペットとして飼うわけであり、きちんと最後まで面倒を見るべきと考える。犬猫等の火葬場の関係については、調査検討をしたい。

小児用AEDの取り組みで
救命率向上を

問・子供の安全に対応するため、AEDの小児用パットを、子供が利用する施設に設置し、救命率向上につなげて、安全、安心を守るべきでは。

答・町長 子供達の安全に対応することは極めて大切である。本町では学校等には、平成18年〜19年で設置した。保育園等にはまだ、設置していないのが現状である。

問・子供の除細動に合わせて電気ショックを与える関係で、小学校に設置されているAEDでは使用できない。早急に導入をするべきでは。

答・町長 現在、公民館、役場、福祉センターなど11箇所、13個のAEDを設置している。保育園の設置については、極力入れ

る方向で考えたい。

行政サービスの一環として
町長と女性の懇談を

問・行政サービスの一つとして、多くの女性と町長で懇談的に、話し合う場を設けて、それぞれの意見や提案を出し合える機会をつくっていただきたい。

答・町長 町民から直接話を聞くことは大切である。イベントや団体の会議などで、多くの町民と接するよう心がけている。広聴はがき、メール、行政区出前講座などでも、多くの意見は出ている。

問・行政に対して良いことや悪いことなど聞かすが、これからは、待っているのではなく、こちらから出

向いて、顔の見える対話が、本町にとって大事であると思う。少子化、高齢化、教育、介護、農業、商工業、家庭、地域などあらゆる問題の下支えをしているのが、女性であり、イベントや講座では本当の話は出てこない。対話の機会を少しでも多く作ってほしい。

答・町長 町づくり、社会参加などを考えると、女性の役割は非常に大きいと思う。これまでそういった機会が、なかったことも事実である。これからは、できるだけ顔の見える対話で、意見等を聞いていきたい。また、その場で答えられないものについても、後日、返答していきたい。



▲ペットは責任をもって飼いましょう

一般質問

日 月 日 議 会
12月9日 水 曜

③ 小森谷幸雄 議員

企業誘致で自主財源確保を

スポーツ施設の整備を早急に



三位一体改革に対する
施策の立案と考えは

問・三位一体の改革、地方分

権が推進される中、年々
地方財政は苦しくなり、
根本的な解決の糸口がな
い状況となっている。板
倉町においては、この改
革の影響をどのように捉
え、町政運営を行うのか。
改革に対する施策の立案
と財政再建計画の推進が
遅いのではないか。この
改革に対する基本的な考
え方及び対策は

答・町長 三位一体の改革は
自治体間の格差を生み、
地方の自立を促すどころ
か、国の財政再建の一助

問・

各自自治体では、決算カー
ドで財政状況を公表して
いる。板倉町は邑楽4町
との比較において、財政
指標上、多くの問題を抱
えている。単年度の指数
だけでなく、経年的に見
た場合に、改善傾向が見
られない。財政指数は諸
政策遂行の結果であり、
見直しが的確に実施され

答・

町長 館林市や邑楽郡の
中では、最も厳しい自治
体である。こうなった背
景は、歴史的な背景があ
り、農地の基盤整備に多
くの予算を投入し、工業
面に対する措置が遅れた
ことも事実である。町づ
くりは、財政・工業中心
だけではなく、バランス
のとれた町づくりが必要
であるが、農地の用途変
更等難しい問題もあるの
で、今後は工業系の導入
など、現工業団地周辺の

問・

開発を推進したい。
借入金と基金の状況にお
いては、財政調整基金を
取り崩しての財政運営を
行うのか。また、基金の
減少傾向からして、将来
的な残高は。

答・

総合政策課長 財政調整
基金は、過去10年間で13
億円と6億3千万円と半
減、減債基金は2億円と
16億円と増加。当面は、
財政調整基金を取り崩す
中での運営となる。これ
までの実施計画を推進す
ると、約3年で底をつく。
予算を現状の収収状況か
ら43と44億円規模に抑
え、財政の長期フレーム
を策定し対応を図る。

問・

大泉はもとより、明和町
も工業団地企業の収収の
増加により不交付団体と
なった。当町においても
自主財源確保のため、工
業団地の拡張及びニュー
タウン未整備地区の用途
を変更し、企業誘致政策
を早急に推進すべきと思
うが。

答・

町長 工業団地開発によ
る企業誘致は、当局とし
ても対応すべく考えてい
る。新知事も企業誘致に

問・

町民が健康的で活力ある
生活を送るために、ス
ポーツの振興は必要不可
欠である。また、総合型
地域スポーツクラブの育
成や、施設の維持管理は
大切である。各施設は老
朽化が進んでおり、屋内・
屋外施設は、他市町と比
較して、非常に見劣りす
るが、施設の管理を含め
た今後の対応は。

答・

教育長 スポーツ振興計
画に沿って町民一スポー
ツを積極的に推進してい
る。総合型地域スポーツ
クラブの推進は諸般の状
況下では難しいと思う。
施設の管理は現状では補
修を行い、次の段階で社
会学校スポーツに見合う
体育館建設を検討する。
屋外施設の管理は学童ス
ポーツの振興という面か
ら整備を図りたい。財政
が厳しい中での維持管理
のため、優先順位を検討
し整備を推進したい。

一般質問

議 2日 目
9月12日(水)

④ 石山徳司 議員

治水は生活と

経済を支える不変の法則



谷田川第一機場を
後顧の憂いのない形に

問・積年の懸案である、板倉

町の排水形態の姿が、具現化される時期を迎えた。谷田川第一機場を後顧の憂いのない形にしていくべきと思う。直径1・35mの配水管で、3連構造になっているものを、今後は2・31m×2・3mの排水樋管にし、自然流出出来るものにするのか。また、隣接する自然排水樋管3・8m×3・9m×2連の排水能力と設置後、何年経過してい

るのかを知りたい。

答・町長 現状の排水樋管をY P 14・52mからY P 13mにし、排水樋管を改築すると聞いている。隣の自然排水樋管は、昭和23年に設置され、59年が経過していると利根川上流事務所から説明を受けている。

答・建設農政課長 谷田川第一機場は、排水能力3・3トンのポンプが3台で、9・9トンの排水能力となる。改築後の排水能力も9・9トンと聞いている。また、隣接自然排水樋管の流下能力においても、毎秒9・9トンと聞いている。

問・自然流下能力のない樋管を持つ谷田川第一、谷田川第二排水機場を観察すると、通水痕跡が見えない

いが、近年の運転実績を伺いたい。

答・町長 利根川上流事務所の説明では、第一機場が昭和23年に、第二機場が昭和25年に建設され、運転実績は年によつて違いがあり、平成17年度では第一機場が0時間、第二機場は6時間。平成18年度は、第一機場が61時間、第二機場が、41時間の運転実績になると聞いている。

大箇野川サイホンの
通水能力は

問・第一機場の樋管が、Y P

14・52mに設置されたことは、八間扉堰で水位を2・5m位上げていることと、関連があるのではないか。大箇野川排水サイホンを作った当時は、

谷田川排水樋管が現在より、高い位置にあったのではないかと推察される。現在の谷田川自然排水樋管も邑楽東部第2排水樋管もY P 11・9mと同じ設置高になっている。更に大箇野地区は海老瀬地区より、60cm標高が高い。大箇野川は、直接谷田川に流下させることが合理的と思う。また、サイホンの断面積と通水能力はどのくらいか。

答・建設農政課長 大箇野川サイホンは、だいぶ古い時代の事業で作られ、昭和3年6月10日に、当時の群馬県土地改良事業担当課長以下が、サイホン工事を視察した写真があり、竣工式当日と記されている。形状は内径5尺の円形で、延長614尺となつていて、断面積をメートル法に換算すると2・14㎡となつている。

答・町長 大箇野川サイホンは、昭和23年以前に作られた。その後、昭和40年代に改修され最大通水量は、毎秒3・942トンとなつている。大箇野川と谷田川の水位比較で

は、谷田川の水位の方が高いという通説になっている。だからサイホンで排出しているという説明に帰結している。しかし、大箇野川ばかりでなく、板倉町全体の治水関係が、一体どうなつているのか、整理する必要があると思つている。防災ステーションの工事が始まつているこの時に、利根川、渡良瀬川も含めた板倉町の治水現況を明確に説明できるように、国交省、県土木、邑土などと共同で整理し、町民に展示していきたい。



▲歴史を語る大箇野川サイホン

住民の切なる願い

八間樋橋かけかえを早急に



少子化対策のキーポイントは
出会いの場づくりから

問・少子化対策は時間との戦いであり、短期間で実行性のある施策の対応が急務である。色々の策があるが、嫁不足問題の取り組みで歯止めをかける。それには、出会いの場づくりを真剣に内容を研究し、早急の対策が必要だが、町の考えを聞きたい。

答・町長 結婚問題については、町でも色々な取り組みをやった経緯があるが、成果が上がらなかった。子供は国の宝でもあるの

で、次の世代を考えると色々な面で、応援する必要がある、みんなで知恵を絞ってアイデアを出し合ってもらい、町として出来ることは、ぜひ取り組んでいきたい。

真の人間教育は、生き方の見本の示せる教師と親にある

問・教育とは何かという、教育の本来の目的を真剣に問い、何よりも、今忘れていた修身、道徳心を基盤に真の人間教育をするためには、教師と生徒の間、親子の間に愛情と相互の信頼感が存在して、初めて真の人間教育が出来るのであり、良い教師、良い親になるための大切な基本を学ぶ場が必要だが、どのように認識して



▲先生と生徒の信頼関係が大事です

いるのか。

答・教育長 指摘のとおり教育は混乱している現状である。板倉の現状を見ると、親たち、地域も学校も、受験競争一色ということではありません。理想とは知、徳、体の調和だと言われている。いかにバランスを取っていくかが、教育の一番の原点であり課題である。人間

住民に必要不可欠の
八間樋橋かけかえを

としての基本は、市町村の教育委員会または、教育行政の中で、どう対応していくかが、一番現場では大事なことで、今板倉の子供達が、全体を見てどういうところが、欠けていて、それを補っていかなければならないか考えながら、色々な面で教育行政を対応している。

問・国道354号線の延伸が出来るという想定の上

で、八間樋橋がお預けのようであるが、未だ広幹道が完成していない状況であり、時間が長くなるようである。今後は岩田流通団地、ニュータウン販売等の税収アップも期待できるので、長い年月待ってきた住民の切なる願いの、八間樋橋かけかえ実現について聞きたい。

答・町長 今度、町においても保育園が完成される予定であり、八間樋橋周辺を見るたびに、何とかし

たいと常々考えている。ニュータウン事業が出来てから、ニュータウンにアクセスする橋ということで、八間樋橋のかけかえは重要事項であると認識している。これまでも何回も検討をしてきたが、色々な問題があり、延び延びになってしまった経緯がある。内郷土地改良と、南地区五箇谷土地改良を、うまく結びこことによって、有利な方法で橋ができるように、きちんと整理して早急に検討したい。



▲かけかえが待たれる八間樋橋

板倉町で

使うお金はいくら？

(一般会計)

49億4,006万6,921円

でした

【1. 一般会計】	
歳入総額	53億0,031万2,407円
歳出総額	49億4,006万6,921円
差引残額	3億6,024万5,486円
【2. 老人保健特別会計】	
歳入総額	12億8,098万5,167円
歳出総額	12億6,041万4,689円
差引残額	2,057万0,478円
【3. 国民健康保険特別会計】	
歳入総額	17億1,402万5,297円
歳出総額	16億4,601万4,534円
差引残額	6,801万0,763円
【4. 介護保険特別会計】	
歳入総額	8億0,278万3,746円
歳出総額	7億2,852万5,249円
差引残額	7,425万8,497円
【5. 下水道事業特別会計】	
歳入総額	3億0,002万9,693円
歳出総額	2億9,088万7,531円
差引残額	914万2,162円
【6. 水道事業会計】	
収益的収入	3億6,907万6,839円
収益的支出	3億2,469万2,897円
差引残金	4,438万3,942円

決算審査意見書

【審査期日 平成19年8月22日 監査委員 塩田兼男 青木佳一】
 総括的意見 平成18年度においては、一般会計及び特別会計並びに水道事業会計を通じて、決算はその計数的に正確で誤帳簿、証憑書類も整備されており、会計経理は適切であります。また、総体としても、非常に厳しい財政運営のもと、適切な予算の執行によって、町民福祉の向上と地域社会への発展に努力されており、行政目的は大方達成されたものと評価いたします。
 今後、地方分権、行財政改革を推進していくうえで、これらの趣旨を十分認識し健全な財政運営の堅持になお一層の努力を期待するものであります。

9/20最終日

平成18年度
 決算(一般会計・特別会計)を
 認定しました

監査委員の意見書と共に町長から提出された、平成18年度一般会計及び特別会計(地方自治法233条) 決算について審議し、全会一致で可決・認定しました。

一般会計 主な質疑

Q 川田議員

町の起債残高は一般会計、特別会計等含めると80億円ぐらいになる。それに引きかえ基金残高は32億円程度しかなく、財政的には相当厳しいと思うが、どの程度認識しているか。また、どのような対策を考えているのか。

A 総合政策課長

財政的には非常に厳しいと認識している。今後、事業の優先順位など、財政改革プランを作成し検討する。また、財源を確保するための団地造成などに着手していきたい。

Q 野中議員

福祉センターやデイサービスセンター、障害者生産活動

センターなど、指定管理者制度へ移行してから1年6ヶ月余たつが、住民サービスの面において、これまでどのようにな変わったか聞きたい。また、季楽里など指定管理者制度に移行する考えは。

A 町長

指定管理者制度は、民への活用が大きなウエイトを占めており、従来の状態を踏襲することなく、民という意識を持つてもらうことが大事である。どう変わったかは、今後精査していきたい。また、季楽里も指定管理者制度へ移行するか検討したい。

Q 石山(徳)議員

固定資産の滞納繰越分が490万円あるが、時効は成立するのか。また、雑収入の中で6,

◆決算認定

000万円計上されているが、具体的な内容は。

A 生活窓口課長

時効の関係は、5年で徴収権はなくなるが、その間に納税相談とか、毎戸訪問など徴収の努力はしている。

A 総合政策課長

雑収入には色々あるが、資源ごみ売上げ収入、身障者の扶養共済年金収入などや一番ウエートを占めているのが、ゴルフ場の賃貸料である。

Q 塩田議員

人件費の関係で職員数が認可保育園が12人、無認可保育園が7人となっているが、臨時職員の人数はどのくらいか。また、認可保育園は園児1人当たりの町負担が59万7,100円で、無認可保育園が61万円である。約2万円の町負担が違うのはなぜか。

A 健康福祉課長

臨時職員の数は、認可保育園、無認可保育園合わせて26人になる。負担金は認可保育園と無認可保育園では、補助金の関係で若干の差が出る。

Q 青木(佳)議員

シャトルバスの運行経路について、幹線道路だけでなく

もう少し中道に入るとか、町民のニーズに応えることが必要である。運行経路を変更する考えは。

A 総合政策課長

シャトルバスの運行は、館林市との協議が必要で、地域の要望は伝えてあるが、現在各停留所の利用者数を調査している。利用形態の結果が出た段階で検討していきたい。

Q 青木(秀)議員

起債の残高が、18年度末は53億、15年度には63億ということで、約4年間で10億は減っている。数年後の基金の見通しと起債はどのくらい減るのか聞きたい。また、補助教員の賃金と外国語指導助手報酬の根拠及び臨時職員など継続勤務による待遇面の改善は。

A 総合政策課長

19年度に7億4,700万ほどの公債費があるが、これから10年間、何も借りなければ1億3,000万ぐらいに減る予定である。ただ、7億から3億まで減らすためにはあと5年がかかる。

A 教育委員会事務局長

補助教員の賃金は、基本的に町の基準で採用している

が、専門性も加味して時給800円、1,000円で採用している。また、外国語指導助手報酬については、全国一律により、手取り30万の契約となっている。

A 町長

臨時職員の待遇面については、以前、賃金を年数に応じて上げていた時期もあったが、全体的なバランスを考えた現在の状態になった。群馬県で決めている平均の賃金が660円、670円であり、それから比べれば板倉町はかなり優遇されていると思うが、正職員と臨時職員の格差の問題もある。全体的に臨時職員の対応をどうするか整理をしたい。

Q 市川議員

県営五箇谷地区ほ場整備事業ゼロとあるが、これは国道354号線の整備と五箇谷土地改良を絡めてやるという話も聞いているが、予算づけをしていないのはなぜか、今後の見通しについて聞きたい。

A 建設農政課長

五箇谷地区のほ場整備については、一度調査を実施したが、県の判断により凍結となったことにより、決算上は

ゼロ円となった。今後とも町としては国道354号線の延伸を見ながら、ほ場整備を推進したいと考えている。

介護保健
特別会計

主な質疑

Q 青木(秀)議員

介護保険を利用している人は75歳以上が殆どであり、町の負担が約1億ぐらい支出がある。今後高齢化が進み、一般会計からの繰り出しが増えると思うが、今後の財政運営について聞きたい。また、介護保険の支出を抑えるには、各施設等からの請求書の手エックが必要と思うが、その方策はあるのか。

A 総合政策課長

当然、負担割合で繰り出す部分は、出てくると思うが、一般会計からの繰り出しについては、疾病予防などに取組んだ上で、介護保険はこれだけとか、上限を決めて改革プランを作成した。

A 健康福祉課長

老人保険や国民健康保険はレセプトの点検をしているが、介護保険については、町から国保連合会の方に、個人のプラン内容を電算で送り、連合会で書類上の点検をして

いる。今後、県でレセプトの適正化計画を作って点検する方向である。

下水道事業
特別会計

主な質疑

Q 石山(徳)議員

水質浄化センターの管理委託業務の中で、水質分析業務委託料の計上があるが、5人の常駐者がいる中で、対応できないか聞きたい。

A 生活窓口課長

水質分析業務委託料の関係は、法定検査であり、水質に関する専門的な分析業務が必要で、常駐の職員で対応するのは難しい状況のため、委託をしている。

Q 青木(秀)議員

公共下水道の建設費の関係で、28億円程の公債を発行しているが、高い金利で何年も返済していくより、借りがえとか繰上償還するべきと思うが、その対応は。

A 生活窓口課長

公債費の対応については、公営企業金融公庫に一本化するとか、方法は色々あると思うので、今後検討したい。



農業振興策&まちづくり指針



豊富な農産物が並ぶ「直売所」

[研修先]
 ・北海道ニセコ町
 ・北海道白老町

【**地域資源循環のクリーン農業を推進**】
 ニセコ町の農業は、緑豊かな大地と夏季冷涼な環境で育った農産物、ニセコジャガイモをはじめとする大豆、稲、酪農等を基幹品目としている。今後野菜、花卉類を組み合わせた均質で、安定した生産ができる経営の複合化の推進を図っていくことが課題と話し合っていた。ニセコの立地を活かした地域農業を確立させ

【**協働のまちづくりの推進を**】
 ながら、農村基盤整備の計画的な実施に加え、堆肥センターを核とした地域資源循環型のクリーン農業に取り組みられているこの事業は、町内で飼育されている家畜の糞と、一般家庭や事業所から排出される生ゴミから堆肥を生産、土づくり実践対策として、堆肥コスト低減と地域資源循環に努めている。

【**住民の心を大切に意識調査を**】
 白老町では、町民、議会、行政の役割等が一体となった自治基本条例を制定、本年1月1日から施行した。このことは、地方分権一括法の施行により、国と地方が対等な関係となったことから、町として、自己決定と、自己責任に基づいたまちづくりを、行うこととなったことによるもので、今では、いくつかの市町村で、すでに制定、また検討がされている。

【**2000戸の農家が30億円余を生産「ニセコ町」、まちの憲法自治基本条例を制定「白老町」**】
 この条例では、自治の基本理念と基本原則を定め、町民、議会、町長と行政の役割等を明らかにし、自主自立のまちづくりを進め、自治の実現を図ることを目的としたものであり、分かりやすい条文となっており、本町も町民参加による「協働のまちづくり」を推進しており、町民に分かりやすい町の憲法を制定すべきと考える。
 (委員長 野中嘉之 記)

保育所運営&越県合併



社会福祉法人赤い鳥保育会にて

[研修先]
 ・神奈川県横浜市
 ・岐阜県中津川市

【**自発性を育む**】
 保育方針は「誉める保育」を基本理念とし、自発性が育つ関わる力の育つ、保育環境を子供達に提案し実践するため、園は「美しく楽しい保育環境」、「美味しく楽しい食事」、「のびやかな時間」を子供達に提供。このような環境を通じ、友達や保育者との良好な関係を築き、心身共に成長していくという説明があった。保育園は人間として育つため、最も大切な基礎づくりの期間であるので基礎づくり保育をしっかりとしてほしい。

【**住民の心を大切に意識調査を**】
 越県合併は、平成13年11月住民アンケート実施、平成14年10月合併協議会に対する不安や心配ごとを把握。平成16

【**2000戸の農家が30億円余を生産「ニセコ町」、まちの憲法自治基本条例を制定「白老町」**】
 2月県境を越え岐阜県中津川市に合併、越県合併は昭和

【**良好な保育環境で人間の基礎を「赤い鳥」、生活圏や利便性による越県合併「中津川市」**】
 来年4月朝日野に総合保育園が開園。園を運営する横浜市の赤い鳥保育園視察。保育室は木の香りであふれる木製家具で構成され、緑の植物が取り入れられていた。
 環境、「美味しく楽しい食事」、「のびやかな時間」を子供達に提供。このような環境を通じ、友達や保育者との良好な関係を築き、心身共に成長していくという説明があった。保育園は人間として育つため、最も大切な基礎づくりの期間であるので基礎づくり保育をしっかりとしてほしい。
 旧長野県山口村は、平成17年2月県境を越え岐阜県中津川市に合併、越県合併は昭和34年栃木県菱村が群馬県桐生市に編入されて以来の平成の大合併である。旧山口村は面積25km²、人口2千人、あわせて恵那郡6市町村も合併し、新中津川市は総面積676km²で人口8万5千人となった。
 2月の村民意識調査では賛成62%、反対37%。4年間かけて村民の心を大切に、十二分に話し合った結果、合併した。木曾の馬籠宿は島崎藤村が生まれた地である。今回の合併は生活圏や利便性などから、過半数が賛成で46年ぶりの合併であるが、板倉町の合併を考えると、越県合併は色々な面で大変難しいのではないかと感じた。
 (副委員長 市川初江 記)

各常任委員会研修レポート

被災者のみなさん、がんばって下さい。

議会で義援金を送金

地震により大きな被害を出した新潟県中越沖地方のみなさんに、板倉町議会として、平成19年8月21日に新潟県災害対策本部を通じ7万円を送りました。

同じく、台風による自然災害により、大きな被害を受けた群馬県南牧村のみなさんに、板倉町議会として、平成19年9月21日に南牧村社会福祉協議会を通じ、7万円を送りました。

議事録を町ホームページに掲載

議会議事録

議会だよりを通して、皆さんに議会の様子をお伝えしていますが、紙面の都合上、一部を紹介するにすぎません。詳細については、平成19年3月議会から、議会議事録を板倉町ホームページに掲載しましたので、ぜひ、お読み下さい。

なお、議会議事録は、今までどおり各公民館にも取り揃えてあります。一般の図書と同じように閲覧できますので、ご利用下さい。

道徳心を忘れずに

議長 荻野美友

議長室エッセイ

赤信号みんなで渡れば怖くない。よく旅行先等でも見かける光景である。また、多くの大人達の使う言葉でもある。赤信号で道路を横断するのは、違法であるし悪いことくらいは子供でも知っているのに、大勢の人がいれば警察の人がいなければ大丈夫。悪いことしたとは思わない錯覚に惑わされたり、烏合の衆みたいな雰囲気になる。解釈は色々と思うが、空き缶の投げ捨て、スピードの出し過ぎ、騒音、ゴミの不法投棄、犬の糞の処理など、数えれば幾つもあると思う。今では集会や会議等の開始が予定どおり始まるようになった。昔は1時間位遅れるのは当然であったし、遅れて来るのが美德と思っていた人が多かった。常識や道徳心はどうだろうか。米や酒を持ち寄って懇談したり、物事を決めた時代もあった。10人位の集まりで私一人位大丈夫と思い、水を持っていったそうである。やかんに入れ、爛して飲んだらお湯だったという話を聞いたことがある。

は、などの見直し要請。

①後期高齢者から保険料が徴収されるが、納入困難の人が出るのではないか。②滞納者には資格証明書が発行される。③保険料増額が医療給付の減額につながる。④医療に制限がかわる。⑤相談窓口

結果 (要旨)

馬 全 馬 全
支 日 支 日
部 本 部 本
長 部 長 部 長
大 西 和 夫

◆後期高齢者医療保険制度の見直しをもとめる要請書
陳情者 全日本年金者組合
馬 馬 馬 馬
支 支 支 支
部 部 部 部
長 長 長 長
大 大 大 大
西 西 西 西
和 和 和 和
夫 夫 夫 夫

陳情

平成19年第2回 臨時議会

保育園新築工事がいよいよはじまる!!



保育園建築予定地

9月定例会に先立ち、第2回臨時議会が平成19年7月24日に開催されました。この臨時議会では、保育園新築工事にかかわる請負契約等の議決がされました。

[可決議案]

●保育園新築工事の契約について

- ①契約の目的 保育園の新築工事
- ②工事場所 板倉町朝日野三丁目地内
- ③契約の金額 2億7,090万円(内消費税1,290万円)
- ④契約の方法 指名競争入札
- ⑤契約の相手方

河本・斎藤板倉町保育園新築工事特定建設工事共同企業体

⑥工期

議決から平成20年1月末日まで(6ヶ月間)

[主な質疑]

Q 宇治川議員

この関係は一般会計からの支出のみで、国あるいは県の補助金はないのか。

A 健康福祉課長

町の単独事業になるので、国、県の補助金はつかず、すべて一般会計からの支出となる。

Q 青木(秀)議員

Aランク4社の組み合わせ基準と入札価格等について聞きたい。

A 総合政策課長

今回の工事は設計額で3億円となり、町内ではAランクの指名参加業者はなく、館林邑楽郡、太田の範囲でAランク業者(6社)と共同企業体を組むことによって指名される権利が発生する。今回、応募した四つの企業体で入札を執行し、河本・斎藤の企業体が落札した。

A 健康福祉課長

4社の入札価格は、消費税抜きになるが、石橋・石川共同企業体2億7,700万円、徳川・栗原共同企業体2億6,800万円、河本・斎藤共同企業体2億5,800万円、本田・藤共同企業体2億7,500万円、落札率は予定価格に対して96%で、設計額に対しては90%の請負になる。

ボ

ランテニアの受け入れ機関を

能力ある企業戦士の活用を

朝日野 大島克己さん



私は、板倉町に越してきて今年で10年になります。勤めも4年前に終わりましたので、お世話になっている地元

で、何かお役に立ちたいと思い、細やかながらボランティア活動の真似事をしておりま

す。しかし、ボランティア活動も一人で出来るものには、限度があります。板倉町も福祉や国際交流などでは、ボランティアの受け入れがあります

を受け入れ、調整する機関が出来たら良いと思います。板倉町にもこれからは、色々な能力を持った企業戦士の退職者が、次々と出てくると思います。

町は、これらの人達をボランティアとして、活躍してもらう方法を考える時ではないでしょうか。

活

力と魅力のある町づくりを

若者達に夢と希望の町を

大字下五箇

荻野公子さん



私は、板倉町に生まれて住み、半世紀が過ぎました。情報化、国際化が急速に進展する中、将来を見通した柔

軟な思考力と判断力が、板倉町には求められていると思います。若者達が日々の生活の中で、望んでいるものは、結婚して子供が出来たら学校の近い所に住みたいという願望だと思っています。事実、板倉町は学校まで通うのに遠い地域が多いと思います。少子高齢化が進む中、美しい自然環境

に恵まれ、温かい人情と古い歴史を持つ、この板倉町から若者達が離れて行つては困ります。交通手段とか、少しでも改善できればと思います。将来を担う若者達が、理想に向つて夢と希望を抱き、限らない可能性を十分発揮できる、活力ある町になることを期待いたします。

編集後記

子供達が人々のよりどころである。そして、妻が最高の友であるという、お釈迦様の言葉がある。最も大切にすべきものは夫婦であり、親子であるということだ。人間らしく生きて行く原点は、親への感謝である。幸せと生きがいには満ちた人生を送るためには、何よりも家族を大切に、親は子を、子は親を心から敬つていくところに、真の幸せが築けるのではないか。親孝行の話が時代を超えて、人の心の琴線に触れるのは、人間の本質的なあり方に、深くかかわっているからだと思う。子供のいない人はいても、親のない人はいない。我子のために身を砕き、育み育ててくれた父母の恩。すべての幸せと生きがいは、人間関係の出发点である親孝行から始まるのでは。(市川初江記)

『傍聴してみませんか』

だれでも簡単にできます “議会傍聴”

議会の本会議は公開制となっています。会議当日受付簿に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。今度の定例会(12月議会)は12月6日からを予定しています。

議会傍聴についてのお問い合わせは、議会事務局 電話82-1111 内線511番までお気軽にお電話ください。

